

# 2002FIFAワールドカップ™ 神戸開催記録集

## 震災復興へのご支援に 感謝のメッセージを

阪神淡路大震災からの復興にあたり、世界中の人々から温かいご支援をいただきました。今回の2002FIFAワールドカップの神戸開催では、そのときの感謝の気持ちや復興へ歩むまちの情熱を、世界中の人々に表す場にしようと、大会期間中にさまざまな取り組みを行いました。

### ようこそ FIFA WORLD CUP™ Merry in KOBE 2002

2002FIFAワールドカップ™の神戸開催に際して、震災時のご支援に対する感謝の気持ちを世界中に発信し、神戸を訪れる方々を市民の笑顔とメッセージでお迎えするため、2002 FIFA WORLD CUP™をテーマに「Merry in KOBE 2002」展を開催しました。

アートディレクターの水谷 孝次さんが手がける「Merry」は、人々の笑顔の写真とメッセージで想いを伝える芸術表現で、2001年には「神戸21世紀・復興記念事業」としてひまわりの花をモチーフに神戸市内で展開されました。

モデルには、市内在住の少年サッカークラブの選手たち、神戸を代表する商工業に携わる人々、スポーツを楽しむ人々などの170組に加え、一般公募91組のあわせて203組が選ばれました。

撮影には、1月中旬からの約2か月間を要し、モデルのみなさんからワールドカップへのメッセージをいただきました。こうして撮影された笑顔の写真とメッセージを組み合わせ、B1サイズのポスターパネルを制作しました。

これらのポスターを、まず3月29日から4月7日にかけてDUOドームで170枚展示しました。そして、4月25日から大会期間中の6月27日までKOBEサポーターズヴィレッジに203枚を展示し、世界各国から来られる多くの方々を笑顔で迎えました。

この展示の終了後には、パネルは全てモデルのみなさんにプレゼントされました。



撮影風景 (神戸ウイングスタジアム)



展示風景 (KOBEサポーターズヴィレッジ・14年5月31日)



展示風景 (DUOドーム・14年3月29日)